

令和元年6月28日現在

機関番号：35307

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2015～2018

課題番号：15H01963

研究課題名(和文)工業生産の再検討-伝統的産業クラスターから最先端への架橋-

研究課題名(英文) Re-examination of industrial production-bridging from traditional industrial cluster to the leading edge-

研究代表者

日置 弘一郎 (Hioki, Koichiro)

就実大学・経営学部・教授

研究者番号：70114022

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 17,200,000円

研究成果の概要(和文)：産業集積におけるものづくりの高度化は、複数の主体の相互作用の中で役割分化がなされることが示された。分業がなされる場合にはリスクを負担する主体とリスクを回避する主体に分かれ、それぞれが協調することでより質の高い製品がもたらされる。これまで経営学で自明とされてきた単独主体の最適化ではなく、相互最適化が問題となる。この状況がクラスター内で起きている情況湯を明らかにした。特にリスクをとって製品企画を行うプロデューサーという存在がキーであることを明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

単独主体のものづくり高度化はこれまでに論じられていたが、集積の中でどのように高度化していくかについてはほとんど論じられていなかった。シリコンバレーなど特定の集積についての研究はあったが、シリコンバレーも京都西陣の集積もにたメカニズムで高度化していることを明らかにした。これは学術的成果であるばかりではなく、産業政策についての基本的な視点を与えるものになっている。

研究成果の概要(英文)：It has been shown that the advancement of manufacturing in industrial accumulation is a role differentiation among the interactions of multiple actors. When division of labor is done, they are divided into risk-bearing entities and risk-avoidance entities, and their coordination leads to higher quality products. Mutual optimization is a problem, not single-objective optimization, which has been considered obvious in business administration. This situation has revealed a hot spring that is happening in the cluster. In particular, it was clarified that the existence of a producer who takes product planning by taking risks is the key.

研究分野：経営学

キーワード：クラスター リスク分担 プロデューサー

1. 研究開始当初の背景

中国景德鎮での社会主義イデオロギーに基づいた大工場への合同がなされた状態であったものが、改革開放によって大工場が解体され、小規模企業に分解されつつあるという情報を得たことであった。通常の産業集積とは異なる方向の産業集積再編成が行われており、それがどのような状況であるかを調査しようとした。

2. 研究の目的

産業集積において製品が高度化していくメカニズムを追求し、集積の効果がどのように表れるか。集積の構造を探ることで、集積内の主体間の相互作用が高度化に関連するかを明らかにして、伝統産業だけではなくものづくり一般の製品高度化に敷衍する。

3. 研究の方法

景德鎮に加え、有田や京焼、美濃焼、唐津などの陶磁器集積における作家、問屋、行政、業界団体などを訪問し、聞き取り調査を行った。

4. 研究成果

景德鎮は中国における文化大革命の影響を受けて、非常に得意な助教にあることが明らかになった。文革期に過程にあるインテリアとしての瓶や陶人形などが壊された。伝統的な作品はブルジョワ的であるという理由で、紅衛兵が家に侵入してきて壊し、つるし上げに会うことを恐れて自ら壊すこともあった。このために改革開放後に富裕層があらわれたときにかつてのインテリアを再び持つという需要が生じた。しかし、二十年以上商品としての取引がなかったために、商品の評価が困難で、消費者も流通も評価が困難で、どのような価格で取引されたかという情報のみが評価の手がかりとなる。作品も新たな創造ではなく、古いものの模作で十分であった。製品の高度化までにはかなり時間がかかると思われる。

これに対比するために有田への聞き取りが行われた。有田は全般に消費が低下しており、一部の作家を除くと、新しい試みは少ない。京焼では、新奇のデザインや新しい器を問屋が主導して作っている。唐津は主として茶陶が製造されており、茶道具商が作家と直接取引しており、問屋はいない。このように、問屋の存在デカなりの特徴が分かれる。

京都西陣では産地問屋に相当する織元と呼ばれる業者が製品企画を行い、職人を組織する。場合によっては原料を調達し、金融をつける。製造の一連のプロセスを全て管理する。このような存在をプロデューサーと呼ぶと、プロデューサーが決定的なものづくりの高度化を担当するケースが多い。プロデューサーの機能を果たしている存在がどのようなもので、何をしているかについての知見を得た。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 6 件)

〔学会発表〕(計 4 件)

〔図書〕(計 1 件)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

1

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年:

国内外の別:

取得状況(計 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年:

国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1)研究分担者

研究分担者氏名： 王英燕

ローマ字氏名： Ou Eien

所属研究機関名：京都大学

部局名：経済学部

職名：准教授

研究者番号（8桁）： 10456759

研究分担者氏名： 李 超

ローマ字氏名： Ri Chou

所属研究機関名：近畿大学

部局名：経営学部

職名：講師

研究者番号（8桁）： 10614646

研究分担者氏名： 関千里

ローマ字氏名： Seki Chisato

所属研究機関名：愛知学院大学

部局名：経営学部

職名：教授

研究者番号（8桁）： 70434256

研究分担者氏名： 波積真理

ローマ字氏名： Hadumi Mari

所属研究機関名：熊本学園大学

部局名：商学部

職名：教授

研究者番号（8桁）：80271443

研究分担者氏名： 大木裕子

ローマ字氏名： Ohki Yuuko

所属研究機関名：東洋大学

部局名：ライフデザイン学部

職名：教授

研究者番号（8桁）： 80350685

(2)研究協力者

研究協力者氏名：

ローマ字氏名：

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。